学校番号	T0204

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ（通信）	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編 詳解地理Ｂ改訂版　（二宮書店）						
副教材等	標準高等地図―地図でよむ現代社会―（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的事象の考察に当たっては地図が最重要であるため、地図を読めるようにする。
・現在の世界で起こっているさまざまな問題（地震・河川氾濫などの自然災害、民族紛争、エネルギー問題など）を生徒自身の問題として考えられるよう新聞記事などをつかう。
・系統地理のデーター処理として重要な統計やグラフを読み解けるようにする。

2　学習の到達目標

・地図や統計、画像など地域に関する諸資料を通して、現代世界の地理的な諸課題についての関心と課題意識を高め、地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解する。
・地理的事象系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・アンケート ・課題レポート ・授業態度 ・出席状況	・課題レポート ・定期考査	・課題レポート ・定期考査	・課題レポート ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	・地図と物理的技能	1、地図を読む、 地球儀と世界地図、 日本の領域、 地図の活用 2、地形 3、気候 4、自然と生活 5、環境問題	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a: 地図に関連する事項について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 自然環境について、自然の多様性を知ることで多面的・多角的に考察している。 c: 自然環境や生活に関連する事象を、広く新聞記事等から様々な資料を収集し、効果的に活用している。 d: 自然環境に関連する基本的事項や問題点を知り、多様な自然や文化などの理解を深め、その知識を身に付けている。	・課題レポート ・定期考査 ・授業態度 ・出席状況 ・アンケート
後期	世界の生活と文化	6、資源・エネルギー 7、工業・流通・消費 8、人口と都市・村落 9、衣食住 10、言語・宗教・民族・国家	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	a: 資源問題から生産・流通・消費について関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 居住・生活文化・宗教について、文化、社会の多様性を公正に判断し、多面的・多角的に考察している。 c: 世界の生活・文化についての事象を新聞記事等から様々な資料を収集し、効果的に活用している。 d: 地理に関連する基本的事項や問題点を知り、多様な文化などの理解を深め、その知識を身に付けている。	・課題レポート ・定期考査 ・授業態度 ・出席状況 ・アンケート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。